

校友時報

平成7年12月21日
編集人兼発行人
秋田県能代市高城2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 樹大勝堂印刷

生徒会長は 2B後藤くん

十一月四日の生徒会役員改選で、会長に2B後藤弘志君、副会長に2B佐藤美春君、F金谷大輔君が、応援団長には2B成田正剛君、副団長には2B瀬川貴志君がそれぞれ信任された。五人にこれからの抱負を聞いてみた。



会長 後藤弘志君



副会長 佐藤美春さん



副会長 金谷大輔君

生徒会長 2B後藤弘志
今年本校創立十周年という事で、様々な行事がありました。そこで食の果たす役割は大きく、自分も生徒会の一員としてやってみようと思い、立候補しました。
来年は創立十周年の次の年という事で、特筆するような行事はないと思いますが、新しいスタートを切るという意味では重要な年になってくると思っています。僕は今年に生徒会に携わった事がほとんどありませんが、先入観のない純粋な気持ちで今後の諸行事を成功・発展させていきたいです。そのために、生徒の皆さん一人一人の協力が不可欠です。これからは、皆さんの意見・提案を尊重し、より活発かつ開放的な生徒会にしていきたく思います。
御協力よろしく願います。

副会長 2B佐藤美春
「副会長やってみないか」と友人A・友人Bが言いました。
僕は立候補しめられたというよりもありますが、今年の中学校とは全く違う、盛りあがりの能高祭を見て、僕もこの中に入りたかったと思っています。
副会長 1F金谷大輔
僕が立候補しめられたというよりもありますが、今年の中学校とは全く違う、盛りあがりの能高祭を見て、僕もこの中に入りたかったと思っています。

私はてっきり冗談だと思っていた。「いいよ」と軽く答えた。ところが、他にやってくれる人がいないということで、本当に立候補することになってしまった。これが、生徒会副会長になった理由です。
これまで、生徒会というものは私の関与しないところであった。当然誰かがやっていた。立候補を現実化に自分のこととして考えてみた時、それをやるのも悪くないと思った。ただし、生徒会に関わった以上は、たとえそれが形にならなくとも、自分が何をやるべきか、ということに後には伝えられるような活動をしていきたい。そして、そのために執行部との提携を図っていました。
副会長 1F金谷大輔
僕が立候補しめられたというよりもありますが、今年の中学校とは全く違う、盛りあがりの能高祭を見て、僕もこの中に入りたかったと思っています。

執行部も新体制に

生徒会三役を支えていく執行部も次のように決まった。
総務 佐久間健、桜田詩乃
書記 成田祐美、菅原亮子
庶務 菊地公亮、渡部豪
広報 保坂亜希子
山部誠子、小川裕
派野進史、原田智津子
大内淳子、西部智子
屋敷里美、渡辺聡子
また、総務の佐久間君にこれからの抱負を述べてもら

山岳部全県新人戦 男子優勝 女子準優勝

十一月二十五・二十七日、三日間にわたって行われた山岳部の全県新人戦で、本校は男子優勝、女子準優勝という成績をおさめた。山岳部部長 二C麻生君は、その喜びを次のように語った。
能代高校山岳部は昭和二十八年登山同好会として発足し、以来一度も全県制覇を成し遂げた事はありませんでした。

総合教養講座 開講中

現在、能代高校では、『総合教養講座』というものが設けられている。対象となっているのは、就職や専門学校への進学が決定した、三年生の生徒である。この能代高校を卒業した、早速社会人として企業に入社することになる生徒のために、授業の一環としての『総合教養講座』が行われているのである。
今年、保健体育科の半田先生、納谷先生、それに英語科の小玉先生が、この講座を担当なさっている。
『総合教養講座』は、大きく次のように分けられている。
◇体育講座
◇料理・礼儀作法の講座
◇ワープロ講座
◇勤労体験学習・特別講座
◇講話
まず、二目的の体育講座は生徒を採用した企業のはうから、草野球のルールについては知っているという、その言葉がきっかけで、その言葉の発端であったという。能代の寒気候は野球こそできないもの、今は納谷先生の指導のもと、体育一般の実技を行っている。
最後に今後の三年生達の進路が有意義なものとなるように応援しています。がんばってください。



副団長 瀬川君 団長 成田君

最高級の苦しみがあったからこゝろ、最後には最高の喜びを得られたのだと思います。これから、日々精進を重ね、顧問成田先生・佐々木誠先生を中心に本書の全県総体に向けて、一層の努力をしていきたいと思っています。

センター試験間近
進路指導部主任佐々木正二先生にセンターを控えての現状、心がきかずにいるという入試本番まであと一ヶ月と

センター試験出願者数の推移

H 6	209
H 7	229
H 8	243

バレーボール部
OB会から寄付
十二月一日、バレーボール部OB会から寄付金があった。学校へはOB会事務局長の北川典彦氏が代表で来られた。北川氏は、能代中学時代のバレーボール部に所属していた。旧制十三期生で昭和十七年三月に卒業されている。この寄付金は、毎年OB会から贈られていて、部に必要な物を賄うのに役立っている。OB会の人たちは、少しでも技術の向上につながるようにという願いをこめて、善意の気持ちで寄付してくれている。



OBの北川さんから校長先生へ

し、偏りのないようにする。生活のリズムをくずさない。早寝の勉強をする。健康に注意する。⑤年末年始の行事に流されないようにする。
自分のことは、自分できちんと責任を持って考えて行こう。▼もうすぐ新年を迎えるにあたって、哲学について少し考えてみるのも、悪くはない。



一人暮らしに備えて調理実習

新人戦はじまる!

各部活もいよいよ年
生中心の新編成となっ
ている。県北・全県の新人
大会での各部の活躍をこ
こではお伝えしたい。尚
紙面の関係で全部活を掲
載できなかった点、御了
解下さい。

ソフトテニス男子

- 県北大大会(9月9~11日)
団体 3位
3位 栗山・藤原組
ベスト8 工藤・渡辺組
新井田・渡辺組
- 全県大会(10月7~9日)
団体 ベスト8
個人 ベスト8
ベスト8 工藤・渡辺組
新井田・渡辺組
- 山岳部
全県大会(11月25~27日)
団体 男子 優勝
女子 準優勝
個人 男子 優勝
女子 準優勝
総合 2位 能登洋一
3位 麻木 聡



山岳部-トロフィーを手に、ポーズ!

バレーボール

- 県北大大会(12月4日)
決勝トーナメント
個人(男子) 110M ハードル3位 笹村庄
150M 5位 丸岡雄矢
個人(女子) 5位 平川さつき
- 卓球
県北大大会(10月6~8日)
団体 0-3 対大館工
個人(女子) 0-3 対大館鳳鳴
決勝トーナメント一回戦
佐々木麻美

柔道

- 全県大会(12月1~2日)
団体 男子 ベスト8
個人(男子) 優勝 今立 裕
準優勝 高橋達昌
個人(女子) 2位 伊藤光恵
72kg超級 2位 伊藤光恵

厳しい就職状況

一借り物でない
自分自身を見いだす努力を—

ニュースでも多く報道されている今年の就職難であるが、興味を持って耳を傾けている人も少なくないのではなかろうか。
さて、能代高校はどういう状況だろうか。公務員・就職の指導をされている小玉金美先生にお話を伺った。
十二月現在、三年生の公務員と民間企業への就職状況をお知らせする。公務員では、国家公務員に内定する四人(うち一人は、県、市職員にも内定)、受検者の四人に一人の割合でし。他に、県職員、市職員、町村職員、消防署にそれぞれ一人ずつです。
民間企業の方は、県外に二人、県内に四人内定しています。

二ニュースでも多く報道されている今年の就職難であるが、興味を持って耳を傾けている人も少なくないのではなかろうか。
さて、能代高校はどういう状況だろうか。公務員・就職の指導をされている小玉金美先生にお話を伺った。
十二月現在、三年生の公務員と民間企業への就職状況をお知らせする。公務員では、国家公務員に内定する四人(うち一人は、県、市職員にも内定)、受検者の四人に一人の割合でし。他に、県職員、市職員、町村職員、消防署にそれぞれ一人ずつです。
民間企業の方は、県外に二人、県内に四人内定しています。

陸上競技

- 県北大大会(9月1~3日)
総合 6位
個人(男子) 110M ハードル3位 笹村庄
150M 5位 丸岡雄矢
個人(女子) 5位 平川さつき
- 卓球
県北大大会(10月6~8日)
団体 0-3 対大館工
個人(女子) 0-3 対大館鳳鳴
決勝トーナメント一回戦
佐々木麻美

戦後五十年に思いを馳せて 芸術教室「今日われ生きてあり」

九月二十八日、芸術教室が行われた。今年は、文化会館「前進座」を迎えて、「今日われ生きてあり」の演劇観賞だった。
戦後五十年ということも相まって、この講演だったが、いわゆる「戦争を知らない子供達」の手供進である私達にとって、「今日われ生きてあり」は、私達戦争といて事実を風化させない為にも、大変意味深いものであったと思われる。ところどころ、涙を拭く生徒の姿も見られた。

秋の古都を満喫 2年生修学旅行

高校生活の大きな思い出の一つ、修学旅行。一班はA・B・E・Fの四クラスで十一月十一日~十五日、二班はC・D・Gの三クラスで十二月十六日、四泊五日の日程で秋の京都へ。引率は、

第一日	東能代	白鳥	京都	近鉄特急	奈良	
第二日	奈良	法隆寺	奈良公園	二条城	清水寺	京都
第三日	京都	京都市内グループ別学習				京都
第四日	京都	クラス別選択コース			京都駅	
第五日	日本海3号		東能代			

団長の加賀谷恭一先生と各クラスの担任七人の先生方、二年部主任の佐沢清誠先生、牧野俊彦先生、岩川博美先生、児玉悦子先生、金敷子先生の十三人の先生方。
一日目は、午前中は奈良、午後から京都をまわり、少し忙しいスケジュールとなった。主な見学場所は、法隆寺、奈良公園、二条城、清水寺などであった。三日目は京都市内一日別行動で、各班が自分達で資料を調べ、思い思いのコースをたどった。十二月中旬という日もあって、京都の紅葉も丁度見頃で、有名な社寺を巡ると同時に、京都の自然美も満喫できたようである。四日目はクラス別行動で、各班は清水焼の絵付けをやったり、お寺をまわったりした。クラスが多かつたため、京都は主に大原方面へ行ったとのこと。



奈良公園で、鹿とたわむる...



愛車物語 (第17回)

理科 成田幸広先生

Q 車の紹介を下さい。
A 三菱デリカスペースギア四WDロングエンジンDIIです。
Q この車を選んだ理由を教えてください。
A 山岳部の顧問をしている関係で、多人数が乗れる荷物を沢山積むことができ、でこぼこの林道を走っても大丈夫な車高の高い四駆という点で今更にもデリカを選びました。Q 車に乗って感じた出来事を教えてください。
A 免許を取って二十五年以上になりますが、初心者の頃は度々事故を起こして思いをいたしました。友だちの車を借りて、雪道でスリップしてコンクリートの電柱に正面衝突したり、兄の車で舗装したばかりの油の浮いた道路でスリップしたり、今でも思い出して恐ろしくなります。自分で車を購入してからは、大きな事故はありません。今は、慎重すぎるくらいに運転に徹しています。
Q 今、車で一番行ってみたところは。
A どのでもいいので家族で遠出をしたいのですが、子どもにそういう余裕がないらしく、またその機会に恵まれず、冬休みにどこかへ行きたいと思っています。



寒い中、成田先生ありがとうございます

山から無事に運んでくれる車に感謝
Q 最後に愛車に対する思いを言。
A 悪路やぶの中を走る機会が多く、車には本当に苦労をかけていると思っています。山の中でエンジンや故障などすると予定の時間に帰れなくなり、場合によっては運搬手に入ります。生徒と私を無事に山から学校まで運んでくれる車に感謝しながら、いたわりの気持ちで乗りたいと思っています。

スクールバス運行開始

十一月二十九日から冬季スクールバスの運行が開始された。運行時間等は各クラスに掲示されている。
毎年のことではあるが、バスの運転手の方々から本校生徒のバスの乗り方のマナーについて注意を受けることがしばしばある。例えば、バスが着いたらすぐに乗り込む、後に乗る人のためにつめてあげる、そして降りる際にバスの運転手にあいさつするなど心の配りのなさなど例に上げられる。
やはり風は強いし、寒いし、バスは込んでいりし不満を挙げればきりがなく、いざ、能高生として守るべきマナー人間として守るべきマナーはきちんと守るべきである。